

# ちびっ子 BOUSAI トライアスロン活動報告書

神戸学院大学任意団体 Seagull Rescue

## Seagull Rescue について

Seagull Rescue は、消防・警察・自衛隊・海上保安庁等を目指す学生の事前学習とともに、有事の際に冷静に行動できる人材育成を目指し、神戸学院大学現代社会学部社会防災学科に学生約 30 名で結成されている。

三角巾を使用した「ケガの手当て」の方法や「ロープ結索」の方法をマスターするだけでなく、その技術を地域へ普及させたいと思い、地域貢献に発展させることを目的とした団体で、主に下記の活動を行っています。

1. 自身の将来に生かせるスキルを身に着ける。
2. 各種イベントへ出展し、地域の方々に対して防災教育を行う。
3. 地域の方々に対して防災教育を行うことにより、有事の際に行動できる人材を増やす。年に 2 回大学に小学生を招待し、防災・減災に関するイベントを実施しています。

このような目的意識の元、日々活動しています。



## ちびっ子 BOUSAI トライアスロンについて

事業名：ちびっ子 BOUSAI トライアスロン

実施日：2020 年 2 月 9 日（日）

実施場所：神戸学院大学ポートアイランドキャンパス

参加者：親子 3 組

実施内容：小学生と保護者を対象とした防災イベントであり、災害時だけでなく、いざというときに助け合うスキルを身に着けることを重要視しています。毎年、イベントの目的を少しずつ変えながら活動しています。今年の実施内容は「地震が起きたとき、どんなことが起こるのか体験する」事です。具体的な内容は以下の通りです。

- ・保護者向けに神戸学院大学教授の中田顧問の講座。
- ・アイスブレイク（防災ダックを使用）
- ・119 番通報の方法を学ぶ。
- ・油圧式ジャッキとパンタグラフジャッキの使い方、違いを学ぶ。
- ・煙の中どのように避難するかを学ぶ。
- ・三角巾による止血方法を学ぶ。

- ・毛布を使った搬送方法を学ぶ。
- ・胸骨圧迫の方法を学ぶ。

子どもたちが分かりやすくするために、ゲーム性を持たせたプログラムを実施しました。また、小学生だけでなく、保護者も対象のため、家族間で、避難所をどこにするか、非常持ち出し袋がどこに用意されているのか、自宅が耐震化されているのかなどといった日常生活の中で防災の内容を話すきっかけづくりにもつなげています。

## 実施結果・効果

「ちびっこ BOUSAI トライアスロン」を実施することにより、参加した子供たちに、災害時役立つ能力・助け合うことの重要性を伝えることができました。また、参加した家族間で防災について考える時間を設けることができました。今回実施した「ちびっこ BOUSAI トライアスロン」に初めて参加した家族が多く、防災に考えるきっかけをつくることができました。そして、地域の防災訓練や、防災のイベントにも興味を持っていただき、今後の生活の一部に備えを意識付けすることを伝えられました。25年前に起きた阪神・淡路大震災や東日本大震災について、顧問である中田教授から講義していただき、災害の凄まじさ、自助・共助の重要性を伝えることができました。そして、今後起こると言われている南海トラフ巨大地震の備えの必要性を改めて知る機会にできました。今後もこのような活動を通し、地域と学生の連携を強め、有事の際に迅速に対応できる地域を作っていきたいです。

## 以下活動写真

○アイ  
ーク



スブレ

○三角巾を使った止血方法



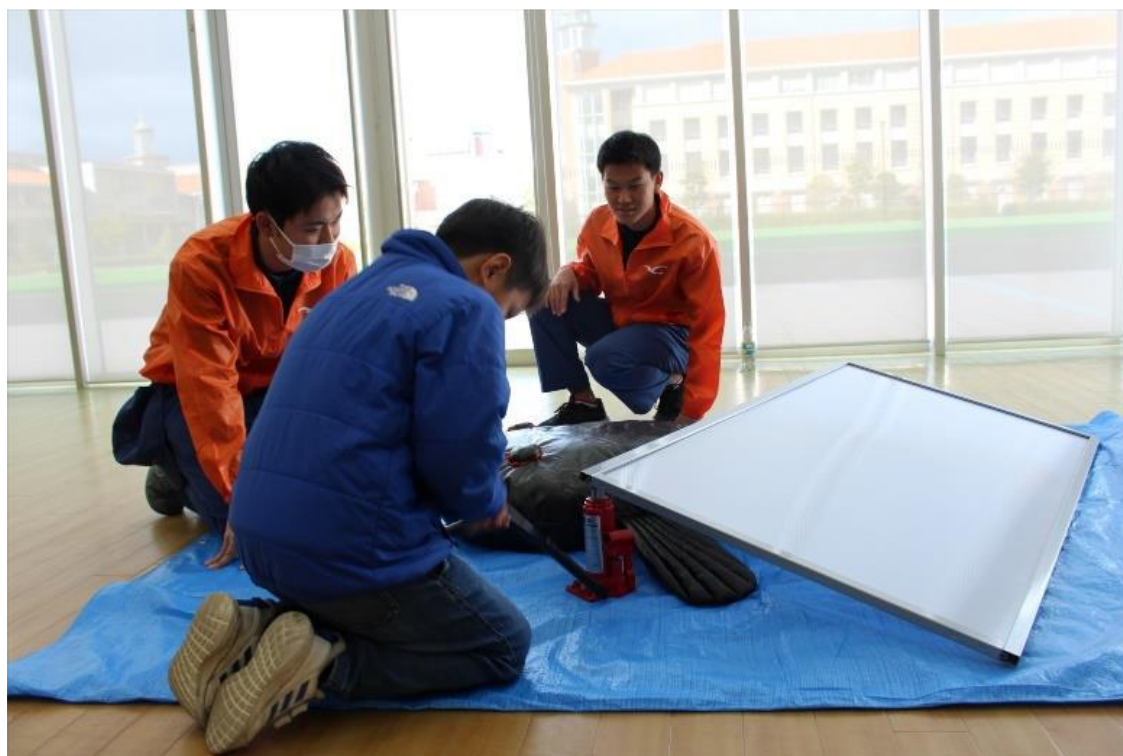
○毛布を使った搬送方法



○胸骨圧迫



○ジャッキアップ体験



○119番通報



○煙中体験



○集合写真

